

ゆきわり荘今昔



昭和63年8月1日開所。あれから30年…利用者の皆さんとの出会いから始まり、様々な別れ…、そして新たな出会い…総数185名の方々とのお逢いがありました。

今振り返れば、開所当時は、汗まみれになりながら、畑の開墾を行ない、採れた野菜のおいしかったこと。どんな活動が良いか、試行錯誤の繰り返しでした。そして、運動会やまつり、旅行など楽しい思い出が駆け巡ります。措置から契約の時代へ、制度も様変わりしましたが、今も変わらないのは利用者の方々の“笑顔”。この笑顔に支えられた30年でした。そして、これからも…。

活動

以前は…



〈リサイクル作業〉
アルミ缶とスチール缶に分ける、空き缶を1つ1つ潰す、潰した缶を袋に入れる、運ぶ、全て分担して行ないました。そして今も続けられています。



〈大根収穫〉
土にいけ、冬場の食材に使いました。



〈椅子作り〉
会津杉の間伐材を使っての、手作り椅子。今も食堂に！

今は…



以前行っていた紙すき作業を再開！牛乳パックを使ってハガキやコースター、しおりを作成しています。

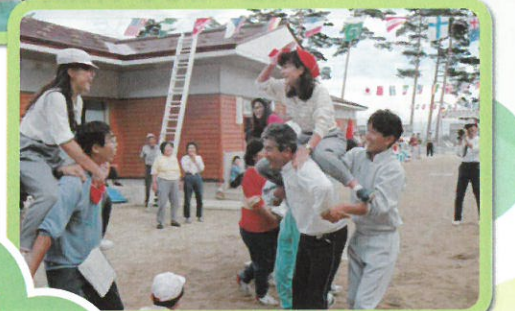


月一回、音楽クラブを開催しています。歌を歌ったり、楽器を鳴らして…皆さんニコニコです♪

以前は…

あんなこと、こんなこと

〈運動会〉
利用者、保護者の方々と職員共にそれぞれの種目に参加して心地よい汗を流しました。昼食時には保護者会からのおいしい芋汁の提供も…



〈まつり〉
夏まつりでは、地域の方に樽を立てていただいたり、仮装盆踊りをしたり盛り上がりました。
〈外出〉
若いころのお二人。プールは大人気でした。



今は…



う～ん
花火
きれい!!

地域の方にも楽しんでいただけるよう9月に打ち上げ花火を開催しています。また、年2回の日帰り旅行に出かけ、バター作りを体験したり、楽しんでいただけるイベントを企画しています。

